

松本南郵便局における労働災害防止取組

1 概要

今年度、松本南郵便局で発生した労働災害（8月末現在）は、14件。対前年6件増。中には、パレット転倒による腰椎骨折や、降下中の油圧リフトに足を挟み、挟んだ足の指全てを骨折する労働災害も発生。

については、労働災害にかかる再発防止の浸透状況をビデオカメラによる定点観察で把握し、必要により再発防止策の見直しや職場改善を行うことにより、社員が安全して働ける職場環境を構築する。

2 定点観察実施状況

(1) 日時

2022年9月13日（火）及び同月16日（金）

両日とも、8:00～8:30の間及び19:00～20:00の間で実施。

(2) 場所

松本南郵便局1階作業フロア（5番線発着口付近）

(3) 撮影内容

- ・ 安全装備の着用状況
- ・ 実際に社員が行っている通常及び小包パレットの取り扱い状況
- ・ 運送便到着時の発着口付近での社員の動き（立ち入り禁止場所に入って作業を行っていないか等）

3 定点観察実施後の取組

撮影された社員の作業状況を郵便局と一緒に確認し、改善すべき不安全行動について、支社・郵便局で共有。

その後、社員アンケートを行い、社員の声を参考にして必要により再発防止策の見直しや労働災害防止に向けた職場環境の改善、社員指導を行う。

《参考》2022年度 松本南郵便局における労働災害発生状況 (8月末現在)

発生日	発生部署	事案	概要
5月6日	会田旧SC	二輪転倒	二輪車走行中、停めてあったフォークリフトの爪に右肩が接触。左側へ転倒して肋骨を亀裂骨折。
5月10日	浅間温泉旧SC	局内労災	郵便物の入った輸送ケースをキャリーボックスに運ぶため台車に乗せようと持ち上げようとしたところ右足ふくらはぎの肉離れを発症。
5月29日	郵便部	パレット労災	2台のパレットを同時搬送していた際、パレットの扉を閉めようとしていた別の社員の右腕肘部分に搬送していたパレットが衝突。
6月2日	山形旧SC	局外労災	配達先で軽四輪車から小包を降ろそうとした際、不自然な体勢のまま小包を手で寄せようとしたところ、左脇腹を亀裂骨折。
6月20日	浅間温泉旧SC	二輪転倒	二輪車に乗車してUターン動作開始直後に意識が朦朧として右側へ転倒し、右足の小指から踵にかけて打撲・捻挫。なお、意識を失った原因は不明。
6月24日	浅間温泉旧SC	局外労災	二輪車に乗車するため歩行中、歩道と道路の段差につまずき、転倒。二輪車のハンドル左側に左胸を強打し、左肋骨骨折。
6月24日	浅間温泉旧SC	局外労災	段差に落とした書留郵便物を拾う際、無理な体制で身体を屈めて右手を伸ばして書留を拾おうとしたところ、肋骨を骨折。
6月30日	郵便部	局内労災	到着したパレットを下ろす際、完全に下りきる前に油圧リフトへ近づいたところ、局舎と安全バーとの隙間に足のつま先が挟まれ、右足指5本を骨折。
7月7日	郵便部	パレット労災	折りたたんであった鉄Ⅲ型を3台まとめて搬送途中、坂道のためパレットが移動し倒れそうになったため、パレット側面へ移動し支えようとしたところ、重さに耐えきれず、パレット2台の下敷きとなり、腰椎を骨折。
7月8日	波田旧SC	二輪転倒	二輪車へ戻り発進直後、道路脇に溜まっていた砂利に前輪を取られて左側に転倒し、左人差し指を骨折。
7月14日	会田旧SC	二輪転倒	二輪車を運転中、対向車を避けるため、足漕ぎで後退した際、溝のグレーチングがない部分に後輪を取られ左側に転倒し、左手のひらを挫滅創。
7月19日	郵便部	局内労災	区分作業中、満杯になっていたケースを交換しようと持ち上げた際にぎっくり腰を発症。
7月29日	集配営業部	蜂刺され	住宅の玄関ドア横の受箱に配達していたところ右前腕を蜂に刺された。
8月1日	集配営業部	蜂刺され	配達先に向かって歩行中にアシナガ蜂に耳と首筋の2か所を蜂に刺された。